

事例ヒアリング調査取りまとめ表

I ヒアリング概要

| 実施日 | ヒアリング団体名 | 実施場所 | ヒアリング対象者数 | 調査時間 | 聞き取り委員名 |
|----------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 平成23年10月28日(金) | 沖縄県手をつなぐ育成会 | 県立美咲特別支援学校 | 5人 | 14:30～17:00 | 長位委員、照喜名委員、伊佐委員、高江洲委員 |

II 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|-------------|-------|---|--------------------------------|
| 1 | ④雇用 | 知的障害 | 就業していた頃、職場の上司などから、数字がわからないとか仕事が遅いといわれ、どなられたりした。 | 社長に言いたかったが、言えなかった |
| 2 | ④雇用 | 知的障害 | 就業していた頃、職場の同僚などから、ひどくおこられた。 | だいぶ我慢していたが、つらくて仕事をやめた |
| 3 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校の頃に、学校(なかよし学級)の教室で、小学校の先輩複数から、服を脱がされた。 | 先生などに言いたかったが、言えなかった |
| 4 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校の頃に、学校(なかよし学級)の教室で、小学校の先輩複数から、金銭をたびたび要求された。 | 先生などに言いたかったが、言えなかった |
| 5 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校の頃に、なかよし学級で、服を脱がされた。 | |
| 6 | ⑤教育 | 知的障害 | 中学校の頃、いじめにあった。 | これにより普通学校から特別支援学校に進学した |
| 7 | ⑥建物等・公共交通機関 | 知的障害 | バス停の表示や案内について「分かりにくい」「漢字が読めない」「意味が分からない」 | 振り仮名を振ることも大切だが、理解しやすい工夫をしてほしい。 |

事例ヒアリング調査取りまとめ表

I ヒアリング概要

| 実施日 | ヒアリング団体名 | 実施場所 | ヒアリング対象者数 | 調査時間 | 聞き取り委員名 |
|----------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 平成23年10月28日(金) | 沖縄県手をつなぐ育成会 | 県立美咲特別支援学校 | 5人 | 14:30～17:00 | 長位委員、照喜名委員、伊佐委員、高江洲委員 |

II 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|-------------|-------|---|--------------------------------|
| 1 | ④雇用 | 知的障害 | 就業していた頃、職場の上司などから、数字がわからないとか仕事が遅いといわれ、どなられたりした。 | 社長に言いたかったが、言えなかった |
| 2 | ④雇用 | 知的障害 | 就業していた頃、職場の同僚などから、ひどくおこられた。 | だいぶ我慢していたが、つらくて仕事をやめた |
| 3 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校の頃に、学校(なかよし学級)の教室で、小学校の先輩複数から、服を脱がされた。 | 先生などに言いたかったが、言えなかった |
| 4 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校の頃に、学校(なかよし学級)の教室で、小学校の先輩複数から、金銭をたびたび要求された。 | 先生などに言いたかったが、言えなかった |
| 5 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校の頃に、なかよし学級で、服を脱がされた。 | |
| 6 | ⑤教育 | 知的障害 | 中学校の頃、いじめにあった。 | これにより普通学校から特別支援学校に進学した |
| 7 | ⑥建物等・公共交通機関 | 知的障害 | バス停の表示や案内について「分かりにくい」「漢字が読めない」「意味が分からない」 | 振り仮名を振ることも大切だが、理解しやすい工夫をしてほしい。 |

事例ヒアリング調査取りまとめ表

I ヒアリング概要

| 実施日 | ヒアリング団体名 | 実施場所 | ヒアリング対象者 | 調査時間 | 聞き取り委員名 |
|---------------|------------------------------|------------------------------|----------|-------------|----------------------------------|
| 平成23年11月8日(火) | NPO法人沖縄県 自立生活セン ター・イルカ | NPO法人沖縄県 自立生活セン ター・イルカ | 6人 | 14:30～17:00 | 西原委員、比嘉委員、岡 野委員、川勝委員、照屋 委員 |

II 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|-----|---------------------|---|------------------------|
| 1 | ①福祉 | 身体障害(医療ケ アが必要な) | 福祉サービスの入所支援を利用中に、県・市町村等から、福祉施設に入所している障害児は、その他の福祉サービスが利用できないと言われた。 | |
| 2 | ①福祉 | 身体障害 | 親亡き後の心配、レスパイトのこと等の不安がある。 | |
| 3 | ①福祉 | 身体障害(視覚、 肢体不自由等) | 県・市町村等に対して、自立訓練等をもっと充実させてほしい。 | パソコンを習いたい、自分にあつた講習会がない |
| 4 | ②医療 | 知的障害 | 医師から、障害のある子を持つ親に対して、「知恵遅れ、これ以上良くなることは見込めない」など心ない言葉があつた。 | |
| 5 | ②医療 | 身体障害 | 医師に対して、障害児をプールに行かせてよいかと聞いたら、「来年はないからいかせなさい。」と言われた。 | |
| 6 | ②医療 | 身体・知的障害 | 福祉の分野では障害者や家族に対してやさしいが、これを医療の分野でもそうしてほしい。医療機関でも人格を尊重した対応してほしい。 | |

II 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|--------------|-----------------|---|----------------------|
| 7 | ②医療 | 身体障害(医療ケアが必要な) | 医療関係者に対して、家族が落ち込んだ時の言葉のなげかけに注意してほしい。特に家族が看護で睡眠不足の時には、配慮が必要である。 | |
| 8 | ③商品販売・サービス提供 | 身体障害(視覚、肢体不自由等) | まつり会場から離れた駐車場等で、主催者から、イベント会場へのシャトルバス利用を促されたが、車椅子なのでバスに乗れず、まつりに行けなかった。 | |
| 9 | ④雇用 | 身体障害 | 行政機関に対して、障害児者の介護のため親は仕事ができなくて、生活が苦しくなるので、対策を講じてほしい。 | |
| 10 | ⑤教育 | 知的障害 | 小学校入学時に、教育委員会から、障害程度の重い子供の学ぶところが特別支援学校しかないと言われた。 | 教育関係者の障害に対する理解不足を感じる |
| 11 | ⑤教育 | 身体障害(医療ケアが必要な) | 就学時に、教育委員会から、医療ケアが必要な子供が通える学校がないと言われた。 | |
| 12 | ⑤教育 | 知的障害 | 医療を受けている児童は義務教育を受けるのが難しい。他の子ども同様に、義務教育を受けることは必要である。 | |
| 13 | ⑧情報の提供等 | 身体障害(盲ろう) | 触手話のできる人が少ない。 | |

Ⅱ 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|------|----------|----------------------------------|-----|
| 14 | ⑨所得 | 身体障害 | 障害年金が年々減っている。減らされたら生活できない。 | |
| 15 | ⑩その他 | 身体・知的障害 | 地域社会に対して、障害を持った子を持つ親等家族への配慮がほしい。 | |
| 16 | ⑩その他 | 身体障害(視覚) | 青年期の視覚障害者の活動する場がない。 | |

事例ヒアリング調査取りまとめ表

I ヒアリング概要

| 実施日 | ヒアリング団体名 | 実施場所 | ヒアリング対象者 | 調査時間 | 聞き取り委員名 |
|----------------|-----------------------------|----------------------|----------|-------------|----------------------------------|
| 平成23年11月15日(火) | 社団法人 沖縄県 精神障害者福祉 会連合会 | てるしのワークセン ター2階会議室 | 5人 | 14:00～16:30 | 田中委員、新開委員、高 良委員、下地委員、前城 委員 |

II 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|-------------|-------|--|-----|
| 1 | ①福祉 | 精神障害 | 精神障害者の生活訓練の場を増やしてほしい。 症状に応じて、きめ細やかな対応が必要。 グループホーム、作業所に行く前の時期に、必要なこと。 | |
| 2 | ①福祉 | 精神障害 | グループホームを設置する際、地域から反対がでることがある。こうしたことが起きない社会にしてほしい。 | |
| 3 | ①福祉 | 精神障害 | 医療にお金をかけるのではなく、福祉の充実を求める。 当事者が活躍できる場を増やしてほしい。 | |
| 4 | ②医療 ⑦住まい | 精神障害 | 精神科病院では、過保護にされている。 精神障害者でも、アパートが借りやすい社会にしてほしい。 | |
| 5 | ①福祉 ②医療 | 精神障害 | 地域での社会資源が少ない。働く場所がない。 帰る場所がないため、病院そのものが生活の場となっている。病院中心から地域 社会中心にしてほしい。 | |
| 6 | ①福祉 ②医療 | 精神障害 | 心理療法士の育成 家族と当事者が共に学べる場がほしい。 | |

Ⅱ 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|------|-------|--|-----|
| 7 | ②医療 | 精神障害 | 地域での居場所がないため、精神科病院が、いこいの場になっている。本来、病院は医療の場。 | |
| 8 | ②医療 | 精神障害 | 精神科病院において、本人の希望で入院している場合でも、鍵をかけられることがある。 | |
| 9 | ②医療 | 精神障害 | 当事者の意向ではなく、親の意向で、精神科病院に入れられた。保護室に入ったが、人権侵害だと思う。精神科病院のあり方を考えてほしい。 | |
| 10 | ④雇用 | 精神障害 | 警備保障会社から、警備関係の法令で、精神障害者は雇用できないとのことであり、会社の指示で、精神障害者ではないための証明書を病院からもらった。 | |
| 11 | ④雇用 | 精神障害 | ある職場では、体調をくずしても休めなかった。精神障害者の場合は、体調に応じた労働環境が必要。たとえば、2人で一つの作業をすとか、時間を短くすとかの配慮がほしい。 | |
| 12 | ④雇用 | 精神障害 | 職業訓練校では、精神障害者が訓練を受けることができない。対応ができないとのことのようなのだが、おかしいと思う。 | |
| 13 | ④雇用 | 精神障害 | ハローワークの照会で、採用面接をしたが、健常者と同じように働かないといけな いといわれ、希望を失った。少しずつでも働ける場を増やしてほしい。 | |
| 14 | ⑦住まい | 精神障害 | 不動産取引において、借家を探すため、不動産事業所に相談したら、精神障害の ある人は、過去の問題を調べないといけな いといわれ、長い期間待たされた。 | |

Ⅱ 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|------|-------|--|-----|
| 15 | ⑨所得 | 精神障害 | 精神障害者の中には、年金をもらっていない人も多い。 | |
| 16 | ⑨所得 | 精神障害 | 障害者の中には、お金がない人も多い。 どこに行くにもお金がないと生活できない。 | |
| 17 | ⑩その他 | 精神障害 | 精神障害者は、外見ではわからない。周辺の理解がないとつらい。自殺者も多い | |
| 18 | ⑩その他 | 精神障害 | 家族にも自分の障害を理解する人とできない人がいる。 家族や地域社会に自分のことを助けてくれる人がほしい。 | |
| 19 | ⑩その他 | 精神障害 | 精神障害者の家族の悩みが大きい。急性期では、ほとんど家族が、母親が問題を抱えることになっている。急性期の時期は、家族も支えがほしい。 | |
| 20 | ⑩その他 | 精神障害 | 地域資源として、活性化を考える際は、当事者を入れてほしい。 | |
| 21 | ⑩その他 | 精神障害 | 精神障害者にも、いろいろな人材がいる。 本人たちがやる気になれば、力を発揮できると思う。 | |
| 22 | ⑩その他 | 精神障害 | 精神障害者とのコミュニケーションが大切。 親はあきらめてはいけない。 親自身も自分の生き方を持たないといけない。 | |

Ⅱ 事例(分野:①福祉、②医療、③商品販売・サービス提供、④雇用、⑤教育、⑥建物等・公共交通機関、⑦住まい、⑧情報の提供等、⑨所得、⑩その他)

| 番号 | 分野 | 障害種別等 | 内容 | その他 |
|----|------|-------|--|-----|
| 23 | ⑩その他 | 精神障害 | 一人で行動できない精神障害者を支える家族の負担が大きい。 | |
| 24 | ⑩その他 | 精神障害 | 条例制定にあたっては、制度から芽がでるようにしてほしい。 制限をするようなものではなく、障害者が暮らしやすい条例にしてほしい。 | |
| 25 | ⑩その他 | 精神障害 | 当事者、家族がたいへんな時期にささえてくれる社会の実現 | |
| 26 | ⑩その他 | 精神障害 | 精神障害に対する正しい理解を求める。 自立と社会参加ができるようにしてほしい。 当事者も家族もたいへん。 安心して暮らせる社会、障害があっても暮らしやすい社会がよい。 | |